

新日本語

雪島 墨

2022年2月8日

1 表記

1.1 ラテン字

あ	い	う	え	お
□	□	□	□	□

表1 母音

	あ	か	が	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
清	○	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
濁		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

表2 子音

「□」は漢語の[□]に用ゐる。

1.2 朝鮮字

	あ	い	う	え	お
あ	아	이	으	어	오
や	야	ㅇ ㅍ	ㅇ ㅊ	여	요
わ	ㅏ ㅑ	ㅓ ㅕ	ㅗ ㅛ	ㅜ ㅠ	ㅡ ㅟ
わ	ㅇ ㅓ	ㅇ ㅕ	ㅇ ㅗ	ㅇ ㅛ	ㅇ ㅜ

表3 母音

	あ	か	が	さ	た	な	は	ま	ら
清	○	ㄱ	ㅇ	ㅅ	ㅈ	ㄴ	ㅂ	ㅁ	ㄹ
濁	○○	ㅌ	ㅇ	ㅆ	ㅉ	ㄴ	ㅃ	ㅁ	ㄹ

表4 子音

1.3 印度字

	あ	い	う	え	お
あ	ह	हि	हु	हे	हो

表5 母音

	あ	か	が	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
清	ह	क	ङ	ट	त	न	प	म	य	ल	व
濁		ग	ड	ड	द	न	ब	म	य	ल	व

表6 子音

2 動詞

動詞は必ず助名詞を伴ふ。

否定	-○○-
可能	-○○○-
使役	-○○○-
推量	-○○-
過去	-○○○○-
完了	-○○-
存続	-○○○-
反復	-○○-
假定	-○○○
理由	-○○○○
命令	-○○○
繼續	-○
終止	-○○
名詞化	-○○○○

表 7 助動詞

3 名詞

名詞は必ず助名詞を伴ふ。

4 助詞

○○
○○
○○○○
○○

5 數詞

數詞は ○○○○。

合成數詞は一桁ずつ讀むか、千を讀み省略する。名詞を修飾する時は「個の」を挿む。

書かない	000-00-0	見ず	00-0-0
書かれる	000-00-0	見られる	00-000-0
書かせる	000-00-0	見させる	00-000-0
書かむ	000-00-0	見む	00-0-0
書いた	000-00-0	見た	00-0-0
書いてゐる	000-000-00	見てゐる	00-00-00
書けば	000-000	見れば	00-00
書くから	000-000	見るから	00-0000
書けよ	000-000	見よ	00-00
書く	000-0	見る	00-00
書き	000-0	見	00
書く事	000-000	見る事	00-0000

表 8 助動詞の例

口語	分析	新日本語
書いてゐなかったから	000-00000-00000-00-0000	000-000-0-00-000

表 9 助動詞の長い例

6 語彙

7 比較

8 表記

9 例

9.1 世界人権宣言

すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

00 00 0000 00 000-00-00000000 自由 000-0, 0000 尊厳 00 権利 00 000-0 0000000000-0.

0000 理性 00 良心 00 00000-00-0, 00000-0 00000000 00 000000 00 000-0 行動 0-00-00-00.

意味	助名詞	後續
主體	〇	〇
客體	〇〇	〇
所在	〇〇	〇
始點	〇〇〇〇	〇
終點	〇〇	〇
所有	〇〇	名詞
動詞化	〇〇〇-	助動詞

表 10 助名詞

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1000
零	一	二	三	四	五	六	七	八	九	千

表 11 數詞

2	二
123	一二三
1000	一零零零 または 千
1,000,000	一零零零零零 または 千千
1,020,003	一零二零零零三 または 千二〇千三
2 人	二個の人

表 12 數詞の例

〇〇	私
〇〇	汝
〇〇	彼, 其
〇〇〇	己
〇〇	誰, 何
〇-	する
〇〇〇-	來る
〇〇〇〇-	良い

表 13 語彙

文語	〇	〇〇〇	〇 變	四段	〇 變	〇 變	〇 變	〇 二段	〇 二段	母音幹
新日本語				子音幹						母音幹

語幹	未然	命令	連用	終止	連體	已然
□	□□		□□	□□	□□	□□□□
□□□ ...□□				○	□□	
□ 變 ...□□	□	□	□	□	□	□
四段 ...□	□	□	□	□	□	□□□
□ 段 ...□	□	□	□	□	□□□	□□□
□ 變 ...□	□	□	□	□	□□□	□□□
□ 變 ...□	□	□	□	□	□□□	□□□
子音幹 ...□	□	□	□	□	□	□

表 14 子音幹の比較

語幹	未然	命令	連用	終止	連體	已然
□ 二段 ...□	□	□	□	□	□□□	□□□
□ 二段 ...□	□	□	□	□	□□□	□□□
一段 ...□	○	○	○	□□	□□	□□
母音幹 ...□	○	○	○	□□	□□	□□

表 15 母音幹類の比較